

第3学年 理科 学習指導案

令和8年2月17日(火)
 荒川区立第二峡田小学校
 第3学年1組 25名
 指導者 主任教諭 林 悠貴

1 単元名 「じしゃくのふしぎ」

2 単元の見込み

- ・磁石を身の回りの物に近づけたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験ができる。[知識及び技能]
- ・差異点や共通点をもとに、問題を見いだすことができる。[思考力、技能、表現力等]
- ・主体的に問題解決しようとすることができる。「学びに向かう力、人間性」

3 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 磁石には鉄を引き付ける性質があること、磁石の極(同極は退け合い、異極は引き合う)を理解している。	① 磁石に付くものと付かないものの違いを比較し、共通点や差異点を基に磁石の性質を見いだしている。	① 磁石の現象に興味・関心を持ち、磁石の性質や働きを調べようと主体的に取り組んでいる。
② 磁石を身の回りの物に近づけ、付くか付かないかを正しく比較しながら調べている。	② 磁石同士や磁石に付く物体との間を少し空けても(空間を挟んでも)力が働くことに気付いている。	② 磁石の性質(引き合う、退け合う、鉄に付く)を利用して、学んだことを学習や生活に活かそうとしている。
	③ 磁石に引き付けられた鉄の物体が、一時的に磁石になることに気付いている。	

4 児童の実態






本児童は、理科の学習が好きで、観察実験に積極的に取り組むことのできる児童が多い。前回の観察と比較して考えたり、数種類の植物を比較しながら観察したりすることができるようになってきている。学習形態については、一人でじっくり考えたい児童、何人かで話し合いながら考えたい児童、先生と一緒に考えたい児童と様々であるが、自分で選択し取り組む経験を重ねている。


ICTについては、4月からローマ字の学習やタイピング学習を継続しており、MetaMoJi Classroom3やGoogle関連アプリについて、色々な教科で経験し、総合的な学習の時間では、今まで学習したことを生かし、すすんでアプリを選択しまとめようとする姿が見られる。文章を書くことに苦手意識を持つ児童も、

デジタル端末を用いることで、タイピングや写真の添付など意欲的に取り組んでいる。本単元では、実験の過程を写真や動画でまとめることにより、他者への説明が苦手な児童にとっても、補助的な役割を果たすと考えた。

5 小単元の指導計画

【活用アプリ等】  MetaMoji Classroom3  google スプレッドシート  カメラ

学びのプロセス	時	○学習活動・内容	◎支援・留意点 ☆デジタルの活用	評価		
				知	思	態
課題の設定	1	<p>【課題解決の見通しをもつ場面】</p> <p>○磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を比べながら調べる。</p> <p>実験1 どのようなものが磁石に引き付けられるだろうか。</p>	<p>◎学びのプロセスは、常時掲示しておく。実験ブースを設け、同じ課題の児童と情報交換できるようにする。</p> <p>☆磁石に引き付けられる物ものと、引き付けられないものを調べ、貼られた写真を移動させる。 </p>	②	①	①
整理・分析	2 6	<p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <p>○磁石とのきよりを変えたときの、鉄を引き付ける力を比べる。</p> <p>実験2 磁石と鉄のきよりが長くなると、鉄を引き付ける力はどうなるだろうか。</p> <p>○磁石の極同士の組み合わせを変えたときの様子を比べる。</p> <p>実験3 磁石の極同士を近づけるとどうなるのだろうか。</p> <p>○磁石を自由に動けるようにしたときの磁石の様子を調べる。</p> <p>実験4 磁石に糸を結び、自由に動けるようにすると、どうなるだろうか。</p>	<p>◎実験2～4について、どれから調べるか、誰と調べるか選択させる。</p> <p>◎予想、結果、まとめは、同じ形式を用意し、自分自身でまとめることができるようにする。</p> <p>☆写真や動画を撮り、にまとめる。  </p> <p>☆随時、友達を見る機能を活用し、他者参照できるようにする。</p>	①	②	
		<p>○磁石に近づけた鉄は、磁石になるのか磁石と比べる。【本時】</p> <p>実験5 磁石に近づけた鉄は、磁石になるのだろうか。</p>	<p>◎実験5について、実験方法や誰と調べるかを選択させる。</p> <p>☆写真や動画を撮り、まとめる。  </p>		③	①
まとめ	7	○学んだことを学習や生活に生かす。	◎学んだことを生かし、問題に挑戦する。			②




振り 返り	8	学習内容や、自分の学びについて振り返る。	☆単元を通して、振り返りを記録する 			①
----------	---	----------------------	--	--	--	---

6 本時の指導計画(1/8時)

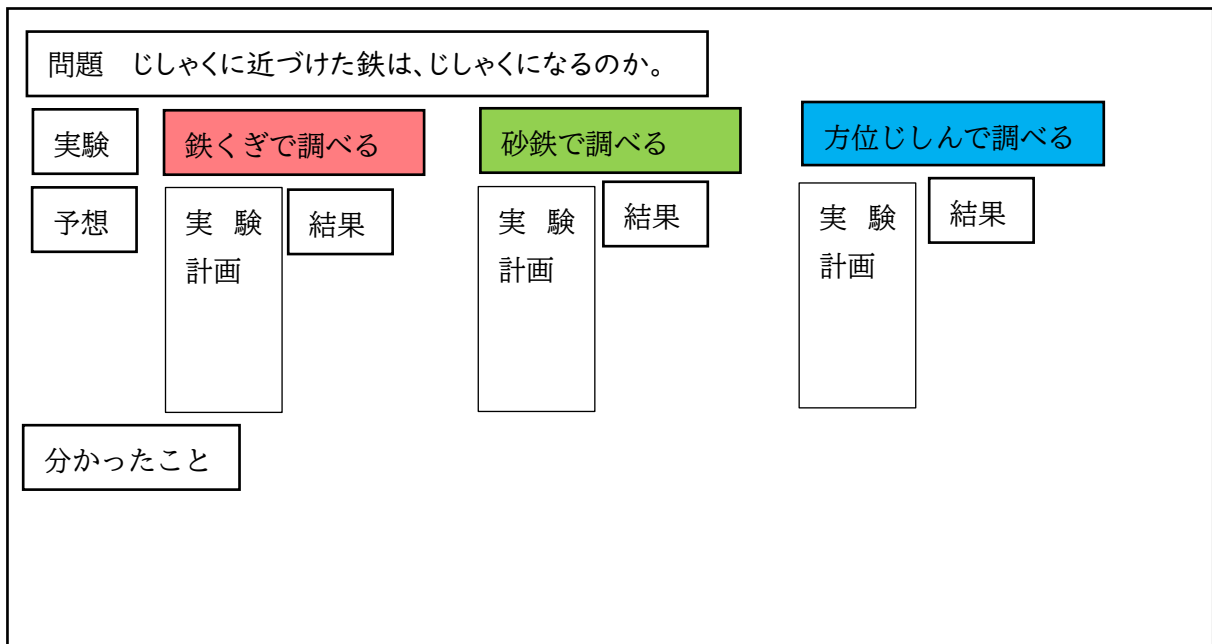
(1) 本時の目標

磁石に近づけると磁石になるものについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、デジタルを活用して表現することができる。

(2) 本時の展開

時間	○主な学習活動 予想される児童の反応	□指導上の留意点等 ☆評価規準(評価方法)
学習課題の設定(5分)	1 課題を把握し、見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #FFF9C4; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 問題 磁石に近づけた鉄は、磁石になるのか。 </div> 2 予想を立てる(個人) <ul style="list-style-type: none"> 磁石になると思う。つながっていることを見たことがある。 磁石にならないと思う。くぎは、くぎであって、磁石ではないから。 3 実験の方法や学習形態を選択する。 	<input type="checkbox"/> 予想は個人で考えさせ、見通しをもたせる。 <input type="checkbox"/> 投票機能を使い、予想を集約する。
活動(33分)	4 それぞれの課題に合わせて、実験を行い、分かったことをMetaMoJi Classroom3にまとめる。(一人で、友達と、先生と) <ul style="list-style-type: none"> 鉄くぎで調べる まず、1本の釘をつけて、そのあとにさらに釘がつくか確かめる。 砂鉄で調べる 砂鉄が引き付けられるか確かめる。 方位磁針で調べる 方位磁針の向きが変われば、磁石と同じになる。 5 全体で分かったことを出し合い、考察を行う。 <ul style="list-style-type: none"> それぞれの実験チームから結果を報告し、分かったことをまとめる。 	<input type="checkbox"/> 実験ブースを作り、同じ課題の友達と共有できるようにする。 <input type="checkbox"/> MetaMoJi Classroom3 の見えるモードを活用し、他者参照ができるようにする。  <input type="checkbox"/> 一つ目の実験が終わったら、次の実験もできるように、声をかける。 ☆磁石に近づけると磁石になる物について、採点や共通点をもとに問題を見だし、デジタル機器を活用して表現している。 <input type="checkbox"/> モニタを使って、共通点を洗い出し、結果をまとめる。
振り返り(7分)	6 振り返りを行う。 	<input type="checkbox"/> 学習の振り返りと、学びの振り返りを行う。 ☆磁石に近づけると磁石になる物があることを理解している。

(3)板書計画



第5学年 体育科 学習指導案

令和8年2月17日(火)
 荒川区立第二峡田小学校
 第5学年2組 31名
 指導者 教諭 松葉 千夏

1 単元名 「跳び箱運動」

2 単元の目標

- ・跳び箱運動の行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができるようにする。[知識及び技能]
- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。[思考力、判断力、表現力等]
- ・跳び箱運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動し、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。「学びに向かう力、人間性」

3 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 跳び箱運動の行い方について、言ったり実際に動いたりしている。	① 自分の跳躍動画と模範動画を比較し、自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。	① 跳び箱運動に積極的に取り組もうとしている。
② 自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。	② 課題解決のために動画を見て、自己や仲間のよい点や改善点を具体的に考え、伝えている。	② 学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合ったり、仲間の考えや取組を認めたりしようとしている。
		③ 器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。
		④ 互いの服装や髪型、場や器械、器具の安全に気を配っている。

4 児童の実態

本学級の児童は体育の授業を好む傾向にあるが、器械運動に対しては「怖い」という不安を抱く児童も一定数いる。タブレット端末の操作には慣れており、写真撮影や基本的な文字入力スムーズに行える。今回学習カードとして使用する「MetaMoJi Classroom3」は、これまでの体育科や他教科等の授業でも使用しており、シートの共有や書き込み等の操作スキルは定着している。今回「タイムシフトカメラ」の使用は初めてであるが、時差で映像が表示される特性を活用して自己の能力の向上に繋げていきたい。

5 小単元の指導計画

【活用アプリ等】  MetaMoji Classroom3  タイムシフトカメラ

学びのプロセス	時	○学習活動・内容	◎支援・留意点 ☆デジタルの活用	評価		
				知	思	態
課題の設定	1	<p>【課題解決の見直しをもつ場面】</p> <p>○繰り返し系の技のコツをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し系の技の行い方と自分の実力を知る。 <p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し系の技の行い方を理解し、課題の解決の仕方を工夫する。 	<p>◎基本的な動きを初めに全体で確認する。</p> <p>☆模範動画を見て目標を設定する。</p> <p>☆遅延動画を活用して練習する。</p> <p>☆今の動画を記録する。</p>	①		④
解決への試行	2	<p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <p>○繰り返し系の技を、自分に合った場で練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返し系の技について課題の解決の仕方を工夫して、技に挑戦する。 	<p>◎技のポイントを全体で確認する。</p> <p>☆遅延動画を活用して練習する。</p> <p>☆今の動画を記録する。</p> <p>☆1時の動画と今の動画を並べて比較し、成長を確認する。</p>		①	②
課題の再設定	3	<p>【課題解決の見直しをもつ場面】</p> <p>○回転系の技のコツをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回転系の技の行い方と自分の実力を知る。 <p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回転系の技の行い方を理解し、課題の解決の仕方を工夫する。 	<p>◎基本的な動きを初めに全体で確認する。</p> <p>☆模範動画を見て目標を設定する。</p> <p>☆遅延動画を活用して練習する。</p> <p>☆今の動画を記録する。</p>	①		①
解決への試行	4	<p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <p>○回転系の技を、自分に合った場で練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回転系の技について課題の解決の仕方を工夫して、技に挑戦する。 	<p>◎技のポイントを全体で確認する。</p> <p>☆遅延動画を活用して練習する。</p> <p>☆今の動画を記録する。</p> <p>☆3時の動画と今の動画を並べて比較し、成長を確認する。</p>		①	②
整理・分析	5 (本時)	<p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <p>○繰り返し系と回転系の技を極める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遅延動画や以前の記録動画を活用し、技のポイントを意識しながら練習して、技の完成度を高める。 	<p>◎繰り返し系と回転系は、時間を分けて取り組む。</p> <p>☆遅延動画を活用して練習する。</p> <p>☆今の動画を記録し、技のポイントを言語化する。</p>		②	
まとめ・振り返り	6	<p>○学習のまとめとして、完成させた技を見せ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が今まで練習してきた繰り返し系と回転系の技をそれぞれ動画で撮影し、友達と見せ合う。 	<p>◎繰り返し系と回転系は、時間を分けて取り組む。</p> <p>☆完成した技の動画を撮影し、互いに見合う。</p>	②		③

6 本時の指導計画(5/6時)

(1) 本時の目標

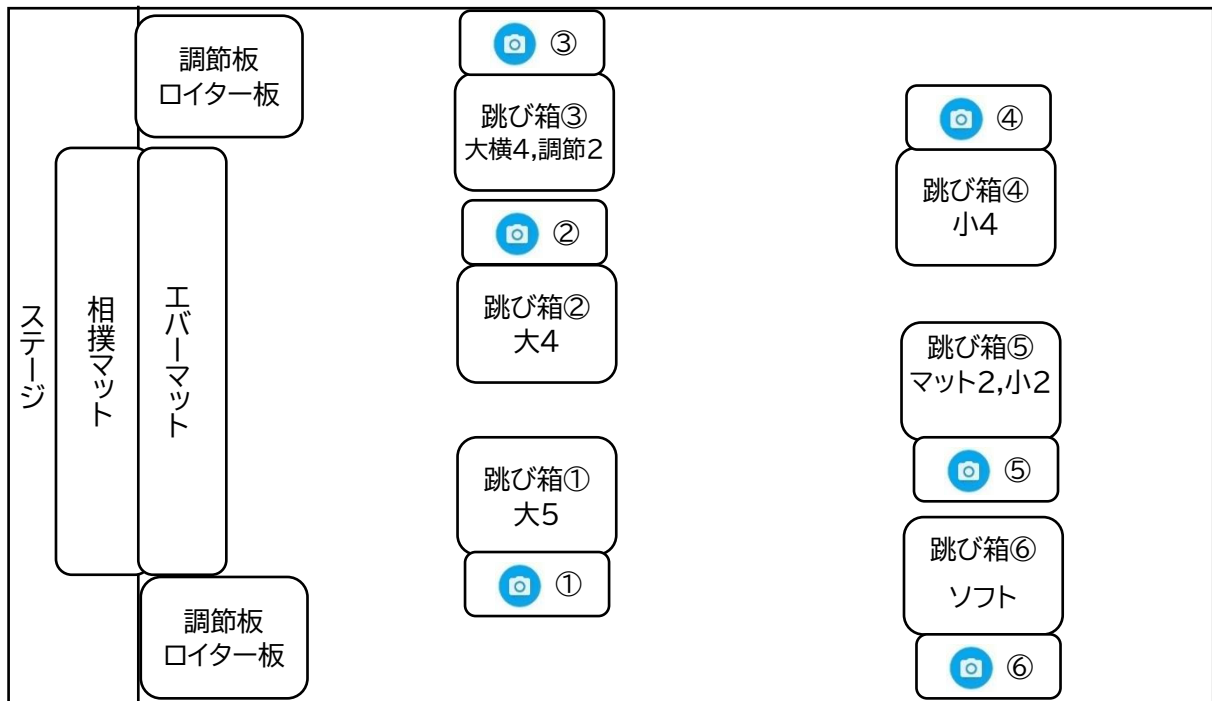
自分の選んだ技の練習動画を分析し、技の完成度を高める。

(2) 本時の展開

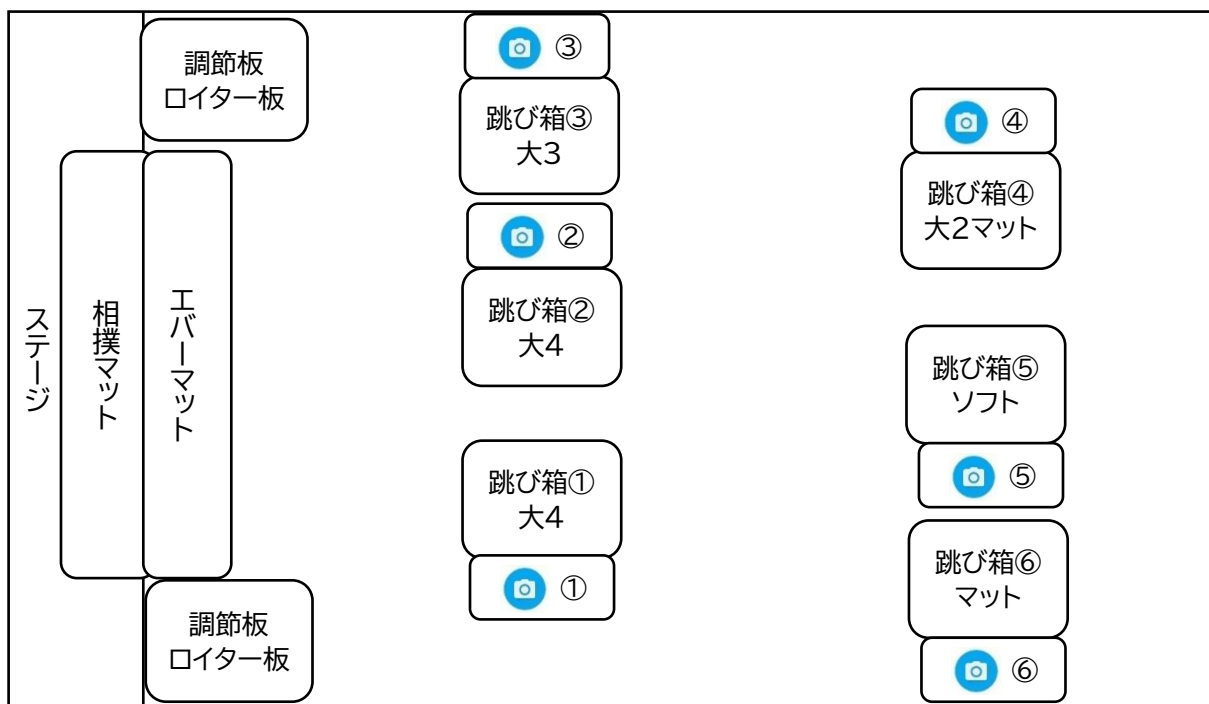
時間	○主な学習活動・予想される児童の反応	□指導上の留意点等 ☆評価規準(評価方法)
学習課題の設定(3分)	<p>1 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>技のポイントを意識して練習し、技を完成させよう。</p> </div> <p>○同じグループの友達とめあての確認をする。 ・かかえ込み跳びを完成させるために、動画を見比べながら、着手と突き放しの練習をする。</p>	<p>□自分のめあてをグループで共有して効率よく練習できるよう促す。</p>
活動(35分)	<p>2 場や器械・器具の準備(繰り返し系) ○6か所の場をつくる</p> <p>3 準備運動、主運動につながる運動 ○跳び箱運動で使う体の部位を意識し、音楽に合わせて体を動かす。 ○壁を使っの突き放し、マット短辺での前転、跳び箱やステージへの飛び乗り、丁寧な着地、ステージからの前転降りを行う。</p> <p>4 跳び箱運動(繰り返し系) ○自分で選んだ繰り返し系の技のポイントを意識しながら練習する。 ・手を付位置と突き放しのタイミングを見てほしい。 ・もう少し早く手を突き放すと良い。 ○完成した技の動画を撮る。</p> <p>5 場や器械・器具の準備(回転系) ○6か所の場を回転系練習用につくり直す。</p> <p>6 跳び箱運動(回転系) ○自分で選んだ回転系の技のポイントを意識しながら練習する。 ・踏み切った後、腰が上に上がっているか見てほしい。 ・もう少し腰を高く上げるときれいに回れそう。 ○完成した技の動画を撮る。</p> <p>7 片付け ○班ごとに担当の場を片付ける。</p>	<p>□本時の活動内容に合わせてまずは繰り返し系の場を作る。 □けがの防止のために適切な準備運動の行い方について、実際に動いて示しながら説明する。</p> <p>□繰り返し系では手をつく位置は奥、体を前方向に進めるように、回転系では手絵をつく位置は手前、体を上方向に上げるようにする。 □何度も跳んで自分の動きを確認できるようにする。 □繰り返し系と回転系それぞれで今日の最後の動画を自分の端末で友達に撮ってもらうようにする。 ☆課題解決のために動画を見て、自己や仲間のよい点や改善点を具体的に考え、伝えることができる。(観察・学習カード) □ケガをしないように友達と協力して片付けるように声を掛ける。</p>
振り返り(7分)	<p>8 整理運動</p> <p>9 振り返り ○自分の動画を見返し、今日の活動の振り返りを入力する。</p>	<p>□ケガがないか確認する。 □グループの友達と一緒に振り返りを行って良いことを伝える。</p>

(3) 場の設定

① 繰り返し系の場合



② 回転系の場合



第6学年 国語科 学習指導案

令和8年2月17日(火)
 荒川区立第二峡田小学校
 第6学年2組 26名
 指導者 主任教諭 浅川 恵美子

1 単元名 「みんなで楽しく過ごすために」

2 単元の目標

- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。[知識及び技能]
- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。[思考力、判断力、表現力等]
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。[思考力、判断力、表現力等]
- ・考えを広げたりまとめたりして思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

3 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ② 思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っている。	① 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 ② 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	① 粘り強く考えを広げたりまとめたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。

4 児童の実態

学習ドリルソフトを家庭学習に設定していることや、日常的にタイピングを好んで取り組んでいることから、文字入力の基本的な技能は概ね身に付いている。授業においてはデジタル機器を活用する経験は多くなかったため、文章を書く際に Google スライドやドキュメントを活用してきた。

話し合い活動については、学級会においてお楽しみ会の内容を定める際に「楽しいから」という理由で折り合いが付けられないことがあり、意見をまとめることに苦手意識をもっている児童も多い。本単元では、どのような活動をしたら1年生と楽しく過ごせるか話し合うことを通して、多角的に情報を検討する態度や、目的に応じて情報を活用して解決する思考力を育てたい。

5 小単元の指導計画

【活用アプリ等】  MetaMoji Classroom3  google スライド  google スプレッドシート








学びのプロセス	時	○学習活動・内容	◎支援・留意点 ☆デジタルの活用	評価		
				知	思	態
課題の設定	1	<p>【課題解決の見直しをもつ場面】</p> <p>○リード文を読み、これまでの学校や地域の行事を想起する。</p> <p>○単元の学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>○議題を確かめ、目的と条件を明確にする。</p> <p>議題：1年生と6年生で一緒に遊ぶ内容を、班ごとに考える。</p> <p>目的：1年生と関わりを深めて仲良くなる</p>	<p>◎教科書に示された「問いをもとめ」を参考に、自分の話し合いにおける課題に着目できるようにする。</p> <p>☆学びのプロセスをまとめ、クラスルームに配布し、児童が学習計画を立てられるようにする </p>			①
情報収集	2	<p>【学びのプロセスを自ら決定する場面】</p> <p>○目的と条件に合う自分の考えをもつために、図書資料やインタビューをして情報を集める。</p>	<p>◎図書館（ブックパークとガリレオルーム）で授業を行い、図書資料を活用したり、グループで話し合う場所を選んだりできるようにする。</p> <p>☆思考ツールを活用して主張や理由、根拠を明確にできるようにする。 </p>		①	
	3	<p>【学びのプロセスをグループで決定する場面】</p> <p>○話し合いで気をつけることを考える。</p> <p>○グループの中で役割を決め、進行計画を立てる。</p>	<p>◎「話を広げる言葉」や「話をまとめる言葉」に着目するよう促す。</p> <p>☆話し合いのモデル動画を視聴し、具体的にイメージできるようにする。（動画）</p> <p>☆グループで立てた話し合いの進行計画をクラウド上に保存する。 </p>	①	①	
整理・分析	4（本時）	<p>【学びのプロセスをグループで決定する場面】</p> <p>○進行計画に沿って、自分の考えを伝え合い、考えを広げる話し合いをする。</p>	<p>◎情報が足りない時は図書資料を使えるようにする。</p> <p>☆グループで思考ツールを活用して話し合いを可視化する </p>		②	①
	5	<p>○進行計画に沿って、グループで考えをまとめる話し合いをする。</p>		②	②	
振り返り	6	<p>○学習内容や、身に付いた力について振り返る。</p>	<p>☆単元を通して、振り返りを記録し、自己の成長に気付けるようにする。 </p>	①		

6 本時の指導計画(4/6時)

(1) 本時の目標

互いの立場を明確にして計画的に話し合い、考えを広げることができる。

(2) 本時の展開

時間	主な学習活動・予想される児童の反応	□指導上の留意点等 ☆評価規準(評価方法)
学習課題の設定(5分)	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 進行計画に沿って、自分の考えを伝え合い、考えを広げる話し合いをしよう。</div> <p>2. めあてを立てる。(個人) </p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会として、班の全員の意見を聞けるようにする。 ・目的に応じた話し合いになるよう、進行計画を確認して話す。 ・相手の話とのつながりを意識した言葉を使って話すようにする。 	<p>□児童と立てた学習課題や学習計画を確認する。 </p> <p>□単元の始めに立てた個人の課題を意識して本時のめあてを立てるよう促す。</p>
展開(35分)	<p>3. 役割と進行計画を確認する。</p> <p>4. 前時で児童から出た話し合いで気を付けることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場や主張を初めに伝える。 ・主張の意図や理由・根拠を尋ねる。 ・前の人の意見との関係が分かるように発言する。 <p>5. グループで考えを広げる話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生は下から投げるドッジボールがよいと思う。 ・「だるまさんの一日」は、みんなで楽しめると思う。 ・クイズを作ったら1年生は楽しいだろう。 	<p>□班で立てた進行計画表を確認する。 </p> <p>□前時で出た意見をスライドにまとめ、電子黒板に写しておく。 </p> <p>□1年生(安全・ルールが易しい)・6年生(満足度)の両方の視点を入れた座標軸で考えられるように思考ツールをタブレット上に用意する。 </p> <p>□出た意見は記録係がデジタル上の付箋に記録する。 </p> <p>□思考ツールや図書資料はいつでも使えることを確認する。</p> <p>☆立場を明確にして計画的に話し合い、目的や条件に合うよう考えを広げている。</p>
振り返り(5分)	<p>6. 学習の振り返りをする。(個人) </p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的から逸れた時に、司会が確認して話し合いが広がった。 ・進行計画より早く話し合いが終わった。意見を比べる質問をして相手の考えを理解することが必要だった。 	<p>□話し合いの中で、意見をつなげる言葉を使っていたり、目的や条件に応じた話し合いをしたりしたグループを紹介する。</p>

(3) 板書計画

みんなで楽しく過ごすために

めあて

進行計画に沿って、自分の考えを伝え合い、
考えを広げる話し合いをしよう。

議題

一年生と六年生で一緒に遊ぶ内容を、班ごとに考える。

目的

一年生と関わりを深めて仲良くなる。

条件

・危険でない遊び

・一年生にもルールが分かる

・六年生も一年生も楽しめる

・場所は校庭か体育館

・遊ぶ時間は十分間

・一年生と六年生、四十六人全員で遊べるもの

○考えを広げる話し合いのときは

・発言するときは自分の主張を初めに言う。

・主張の意図や、理由・根拠についての疑問点をたずねる。

・目的を確認しながら話し合う。

○話し合いの良かった点

・全員が意見を出して話し合えた。

・図書の本も活用して意見を出した。

・たくさんの意見の中から一年生も六年生もよい遊びを考えて伝えた。